

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型に移行したが理念は、まだ決めていないので地域の介護資源として、活用され貢献できるよう取り組んでいく。	○	地域の、各団体への活動・イベントに積極的に参加し地域に溶け込む活動をして行く。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員に対して理念の説明や対話が不足しているために共有できずすれ違いが生じる部分もあるが職員とのミーティングを重ねるごとに少しずつ理解が得られるようになってきている。	○	説明と対話コミュニケーションの取れる時間を増やしていく
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議の実施を元に地域に根ざしたホームとして取り組んでいる。家族会も組織して方針や理念を理解して頂けたものと思う。地域の資源として今後も取り組む方針である。	○	家族会の結成並びに運営推進会議の設置
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	出来るだけ地域の皆様や隣近所の方たちには挨拶や声掛けを行っている。	○	特にホームの付近の畑の所有者さんたちとの野菜の栽培方法や出来た作物を頂くこともあり交流を図っている。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭り等のイベント時には率先して利用者ともども参加している	○	イベントにホーム独自の参加スタイルを構築したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の商店にホームでの商品販売をして頂いている。	○	ホームとして自治会組織への参加
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善には取り組みを進めている、思うように進んでいないのが現状であるが改善出来た項目もあり、少しずつではあるが進めている。	○	改善項目を職員会議等の意見を聞き出来るだけ沿ったものとしていくため意見を聞き改善の参考に
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	推進会議の1回目の実施を行いホームの現状や内容を説明し、理解を得られたと思う今後の方針としてはサービス実態や地域の意見を取り込んでより良いサービスが提供できるよう取り組んでいきたい。	○	次回の運営推進会議には外部評価を受けた後結果報告や改善方法など明らかにし、意見を聞き改善の参考にして行く
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業展開や今後の運営方針について時々話をするが(指導側と民間事業者)意見・思いが噛み合わないことがある。	○	指導だけではなく、事業運営に対しても協力をしてもらいたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員に対しての学習機会や研修の機会も少ないので今後は職員全員が理解出来る研修会の機会があれば大いに参加させる。	○	研修会に参加させていく。
11	虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	行政や上部団体の関連研修会には率先して参加させ理解を得ている。	○	職員間での研修報告を徹底し、全員が防止に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>説明の後必ず不明な点等について質問を受け納得の後に契約を取り交わすといった手順で進めています契約後も不明なことがあればお答えをしています納得の後に契約入居としますから現在までトラブルは全くない状態です。</p>	<p>○</p> <p>利用者家族は切羽つまり入居の手続きを行い入れて良かったの思いしか見えてこないのが実状であることから出来れば事前に書類の説明が出来ればと思います。したい</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々の介護に対する利用者の不満、苦情は其のつど聞き入れて納得を得ているので特別に機会は設けていない</p>	<p>○</p> <p>今後も理念に基づき、いたわり・真心・誠意をもって介護が出来る様に話し合い指導していきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会がなかなか開催できない今日であります、どなたのご家族も月に何度か面会がありますので面会を利用し、ホームでの状況出納簿の確認、を行っています。また健康状態については異変が起きた時点で個別に連絡を取りながら家族の思いを聞きながら対応しています</p>	<p>○</p> <p>ご家族の面会が頻会になるよう誕生会など企画し利用者や家族の接点を密にしたい</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>先に家族会を組織して貰い機会を設けているが特段に苦情や不満は、出ない、問題が起きれば其のつど家族と連絡を取り説明し、了解を取るようになっている。</p>	<p>○</p> <p>今後は、家族会を頻回に開催し、意見を聞く機会を増やしていく。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員の意見、提案をじっくり聞く機会をもててない。</p>	<p>○</p> <p>職員の意見を聞く場を設ける</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員会は状況に応じて開催し意見を求めることとしている異常事態の早期発見早期対応について常に指導している</p>	<p>○</p> <p>緊急時の家族への連絡が取れない場合があるので連絡方法の見直しを検討する。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>特別に対策はなされていないが職員は出来るだけ表面にださないように振る舞い嫌なことがあってもその場だけで抑えている逆に利用者さんに癒されていることが多い</p>	<p>○</p> <p>職員と利用者の関係は非常に安定しているのでこの関係は継続できると思います。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の案内をみて出来る限り全員の職員に受けってもらうように、計画している。法人内の研修の実地は出来ていない。</p>	○	各種研修会に参加させる
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>雲南地域グループホーム部会での研修会を利用し職員同士の意見交換や懇親会に参加している。</p>	○	今後も積極的に参加し意識高揚を図る
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>時々ではあるが職員と親睦会を開く。</p>	○	ストレスがたまらないように話を聞く時間を出来る限り取り、親睦の機会を多くもつ
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の思いを大切に、前向きに仕事出来るような配慮が欠けている。</p>	○	運営者・管理者・職員とのコミュニケーションが必要
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>十分に時間をかけて傾聴し、実行する。</p>	○	今後も同じスタイルを保つ
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居までのところでホームへの事前来所を進めたりし理解を深めて貰い合いの上で入所の決定を頂くことにしている</p>	○	今後も同じスタイルを保つ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅での生活が可能となるようにサービスの組み合わせて在宅での生活を考えて貰う	○	原則在宅復帰を見据えてのホームでは生活リハビリ中心に行う
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	早く馴染んで貰う為に一对一の対応や家族の協力を得ながらサービスを開始する。	○	家族へ在宅復帰への可能性について理解と説明を行う。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出来るだけ目線をその人にあわせ寄り添うことにより信頼関係をきずく	○	今後も同様な姿勢で行う
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	通院は家族の代わりに務め不穏なときには家族への連絡調整を行うなど一体的に援助している。	○	継続実施を行う
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族に電話で声を聞かせたり家に帰りたいという希望があれば家族の了解のもと日帰りを行う。	○	継続実施を行う
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今までの行きつけの美容院、病院、友人宅へ一緒に出かける。近所の店に出かけることで、知り合いに出会い話しをすることが出来る。	○	継続実施を行う
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関わりには口をださず見守りをしている。	○	継続実施を行う

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホーム独自の花見会などのイベントには参加して頂くように家族会や案内状による接待をし取り組んでいる。	○	今後も同様に継続的に実施して行く
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	とにか個人の意思を思いを尊重して理解することから接しているので、自由に好きなことがやりたいことが出来るよう配慮している。	○	自由に出来るよう継続する
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	十分とは言えないが入居前の生活歴や環境については、機械あるごとに家族や関連のケアマネ・医師にとの面談の上今後の対応も含めて検討している	○	継続実施する
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日個人個人に挨拶と声掛けを行い状況把握に努めている	○	継続的に把握に努める
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員の意見を最大限尊重し、必要に応じて反映させる家族に対しても説明了解を得て実行して行く。	○	アセスメントを充実させ介護計画に反映させて行く。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員の意見・家族の希望・本人の要望などアセスメントや家族・職員の意見を反映させた介護計画とする。	○	利用者・家族に対してのアセスメントの充実を図る。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づきや健康状態・気分によって作用されることも多いが基本は自由にして頂くように計画を立てている。	○	アセスメントを充実させ介護計画に反映させて行く。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来るだけ本人希望を見極めて柔軟に対応が出来ている自由を尊重し与えることが出来ている。	○	継続実施
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	今後は各方面の協力を得ながら地域に根ざしたい	○	取り組みをして行きたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	当事業所はデイサービスを行っているので、午後の時間をデイサービスで過ごして頂いている方もある。	○	継続実施
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今後の課題である	○	今後の課題である
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	100%支援している	○	継続実施

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	個人個人違うがそれぞれに通院介助をしている	○	継続実施
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	主治医を通して支持をもらうことが多い支持に従い実行している。	○	継続実施
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時は、小まめに様子を見に行き、状態を聞き対応している。早い段階で主治医と話をしている。	○	継続実施
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでの共同生活が困難である状態になれば家族を初めとして関係者により次の方向を考え方向決定まで話し合いをする	○	継続実施
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	方針に沿って支援を行うホームでの役割の範囲内で看取りについては今後検討して行くが家族は、見取りを願っている傾向にある	○	継続実施
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現時点での要望や住み替えも無い	○	今後状況に応じて対処する

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄、食事のときなどの声掛けには特に配慮するよう心がけているが、まだまだ配慮が足りない。	○ 今後勉強の機会を増やして改善できるよう配慮したい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	出来る限り要望をかなえて安定した共同生活が出来るようゆっくり話をしたり、聞いたり、しながら納得のうえ決定し、行動に移して貰うよう目線を合わせて支援ができるよう心掛けている。	○ ゆとりがもっと出来る職員体制が必要
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの意思を尊重し入居者様の思いに合わせた支援をするよう心掛けてはいるが、職員の統一がなされていない。	○ 散歩や買い物に出かけたい方の思いを大切に、今以上に支援していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	近くの美容院、理容院での散髪を実施。行き着けの美容院へ行きたい方は、一緒に出かけている。	○ 継続実施を行う
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備に出来るだけ関わりをもってもらう為、一人一人にあった事をしてもらうように声をかけている。	○ 継続実施を行う
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物、おやつ、たばこ等各自のものを準備し要求に応じるようにしている。	○ 継続実施を行う

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	オムツやリハビリパンツなどの使用はなるべくしないようしている利用者には早く取り外して使わないよう支援している。	○	今後もなるべく使わないしない方向に支援する
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴実施。本人の意思を尊重し、入浴したい時間に入れるようにしている。	○	夜間の入浴の実施
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠れないときには側で添い寝をしたり話し相手をしたりしてあんしんを与えるよう支援している	○	継続する
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの思いを大切に、生活して頂ける様支援しているが、職員も一緒になって楽しんだり、声掛けの不十分がある。	○	自分のことは自分で出来るよう意欲を持たせてあげられるよう心掛けて行きたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出かけた時は、自分で支払いをしてもらうようにしている。おこずかいの中から少し自分でもっている利用者もある。出かけたときは、自分で買い物をしている。	○	出来る方にはすべてを任せて買い物が出来る様に配慮している週1回ホームで買い物が出来る様に地元商店にお願いして販売に来て貰って店を出して貰う
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩に出かける方には、一緒に歩いたり、遠くからの見守りをする。天気の良い日は、玄関での日光浴をする。	○	出来る限り日光に当たれるよう支援して時には日光の下でお茶や食事の機会を持つようにマンネリを無くすよう配慮している
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	出かける機会を多く作っている。喫茶店へモーニングへ出かけたり、入居者様全員に経験してもらう。家族と外食をしてる利用者もある。	○	イベントや時期の花などの観賞喫茶店などへのお茶の会など時間の有る限り経験して貰えるよう配慮している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたいと言って来られるときは、事務所の電話を使用してもらっている。かかって来ることもある。		自由に掛けてもらうことが出来る様に対処している
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者とゆっくり話しをしてもらう為に、居室、ホール、共有スペースでお茶を飲みながら過ごしてもらう。写真でホームの様子を見て頂いたりしている。	○	24時間いつでも受入が出来るようにしている
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしないさせないをもつとに日々取り組んでいる	○	身体拘束はしない自由を与えている
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中鍵を掛けないよう指導している。職員も心がけている。	○	常に鍵は掛けないように心がけている実践している
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	深夜数回の見回り、所在確認や状態確認を昼夜を問わず行っている	○	外に出かけるときにはマンツーマンで対処するなど常に安全な対応に心がけている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	現金などの貴重品は事務室で預かり施錠して保管している。必要が生じたら手渡す	○	預かったお金は、出納簿により個々に管理している面会時に確認して貰う
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	全員が個々の情報を共有し全員がどのような事態に遭遇してもあわてずに対処ができるよう講習会などに参加している。	○	情報の共有を十分に出来る事が必要申し送りなどの徹底

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命講習に参加して技術を身につけるよう雲南消防署に依頼し実施している。	○	今後も同様全員が技術向上に努めていく
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時連絡や対応のマニュアルをもとに対処し、避難訓練などの実施を考えている。	○	今後は地域の皆様の協力が得られるようまた共同参加の避難訓練など実施していく
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	常に連絡を取り合い病状日常の状態など説明し了解をとる急変時や定期受診時には主治医の先生の結果などを聞きに同席してもらったり急変時のたいおうなどについて日頃より話し合い了解を頂き対応することに同意を取っている	○	急変時の対応を含め利用者の体調管理には万全な配慮をする
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェック夜勤からの夜の状態などの申し送りを受け情報を共有し、異変が起こればすぐに発見できるようにお互いに観察していく	○	異変が起きればすぐに対応する
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方の内容等一人ひとりファイルし、わかるようにしてある。	○	飲み忘れがないよう十分注意するとともに間違わないよう留意している
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	出来るだけ運動・水分摂取毎日の入浴など実行しながら体調管理に勤めている。	○	今後も体調管理を行う
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口ゆすぎ、入れ歯磨きの声掛け。就寝前の入れ歯の回収、1週間に1度消毒実施		出来るだけ回数を増やすように配慮していきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、形態など利用者に合わせて提供している。	○	個人の能力(嚥下・咀嚼・身体能力)など配慮して提供している。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染防止マニュアルの作成	○	十分注意し、マニュアルに沿って配慮していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に行っている清潔・整頓に心がけている	○	今後も行っていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物の玄関には生け花を、置いてはあるものの、家の玄関の雰囲気を出せていない。	○	三階のホームの入り口を玄関とし、表札を掛けたり、季節に応じた飾りをしている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間には季節の花や・作品・イベント参加のスナップなど馴染みややすく配慮している	○	今後も出来るだけ配慮していきたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはソファーを2箇所準備し、和室も常に開放しているどちらにもテレビや新聞を備えて利用しやすく配慮している	○	今後出来る人にはゲームなども備え付けて過ごしやすいうしていく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を持って来て頂くように契約時はなしをしている。		在宅での生活形態を出来るだけ崩すことのないよう今後も配慮していく
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	エアコンを活用し常に体調に合わせた調節をおこなっている。換気も時々行うよう配慮している	○	今後も気温の変化体調に合わせた調整をしていく
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーであるトイレもすべて洋式廊下・風呂・トイレ居室にも手すりを設置	○	身体能力に応じて必要なら福祉用具の使用並びに設置
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来ることを毎日声掛けし、継続して貰うことで、自分の仕事として進んで動かされる姿をみるようになる。	○	強要することが無い様に、一人ひとりにあった声掛けをしていく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関横に畑を借り、野菜の栽培をしている。玄関前には、日光浴や雑談が出来るように、くつろげるようにしてある。時々ここでお茶を飲んだり、通りがかりの方も足を止めて下さることも有る。	○	旬の野菜を少しずつでも作り季節感を味わう

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
		○	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

通院介助のサービス。モーニングへ喫茶店へ出かけたり、ドライブへ出かける機会を多く持つ。本人希望の時間帯の入浴、夕方に向けての入浴実施。